

WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《18号》

週報 通算 2116回



第2640地区

和歌山東南

ロータリークラブ

本日の例会

11月19日(水)
12:30~ 華月殿

- ・坂口会長 点鐘 ・ローターソング：花になろう 鳥になろう、結婚記念日お祝い
- ・出席報告(例会委員会) ・会長挨拶 ・幹事報告 ・ニコニコ箱(寄付金)報告
- ・委員会・同好会報告 ・行事「IDM発表② ローター情報・規定委員会」
- ・坂口会長 閉会点鐘

先週例会報告

会場監督 赤在依美

ゲスト：紀三井寺 副住職 前田泰道様

会長挨拶

坂口 和男 会長

こんにちは。本日は、紀三井寺において、例会をさせて頂く事になりました。前田住職様・副住職様、本日お世話になります。また、副住職様には色々とお無理をお願いし、申し訳ございません。

会場まで階段を登られた方はいますか。三名の方ですか。素晴らしいです。私も登りました。私は小学校の低学年まで、お寺を遊び場所にさせて頂きました。ゲームやテレビがない時代でしたので、お寺が私達の遊び場所でした。紀三井寺さんには何かとご縁がありますので、これからも栄えることを願います。



幹事報告

谷口 拓 幹事

- ・和歌山南 RC 名誉会員 月山和男様のご逝去されました。お通夜 11月13日(木) 19:00~、告別式 11月14日(金) 11:00~ 場所は吹上ホール(吹上2丁目3-36)です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ・紀三井寺様より来年の暦他を頂いておりますので、皆様お持ち帰りください。



ニコニコ箱

中岡 隆文 会計

- 坂口君・本日、前田副住職よろしくお祈りします。
- 谷口君・前田様、本日よろしくお祈りします。
- 有本君・御無沙汰しています。
- 保田君・紀三井寺さん、本日はお世話になります。
- 山口君・皆さん、御苦労様です。
- 郷間君・紀三井寺様、本日お世話になります。
- 神谷君・いつも『にこにこ』坂口会長に喜んで。
- 吉田君・紀三井寺様、お世話かけます。よろしく。
- 土屋君・本日はお世話になります。
- 籠田君・IDM 失念しました。大変ご迷惑おかけしました。
- 宇治田君・紀三井寺さん、本日はお世話になります。
- 西口君・お世話になります。
- 津田君・紀三井寺さん、本日はお世話になります。



出席報告

出席者 出席率

会員総数 50名 11/12 33名 68.75%

出席免除会員 3名 10/29 38名 80.85%

ニコニコ	米山記念 奨学会	ローター- 財団	東南育英 会	45周年記 念BOX	紀南災害 義援BOX
累計 1,117,058	162,000	137,000	26,000	361,200	0

辻本君・前田さん、本日はありがとうございます。
 太田君・紀三井寺さん、お世話かけます。
 角谷君・紀三井寺さん、本日はお世話になります。
 土屋君・成功を願って。
 山本(唯)君・良い天気になりました。皆様の日頃の行いの良さです。
 南君・前田貫長様、本日はお世話になります。
 和田君・本日はお世話になります。今日は暖かいですが、明日寒いんだって。
 中岡君・紀三井寺さん、本日はお世話になります。先日ゴルフでちょっといいスコアでした。
 IDM B班・IDM 残金です。



「紀三井寺大光明殿と紀州徳川家御成御殿御拝観説明」 紀三井寺 副住職 前田 泰道様



本日はようこそ御来山下さいました。和歌山市の中心、和歌山城周辺から「東南」に位置するこのお寺は、和歌山東南ロータリークラブと誠に御縁深く、貫主が会員であること、清掃奉仕や桜樹ご植樹戴くなどご高配を戴いておりますことなど、御厚誼を拝謝申し上げます。

大光明殿は本堂の奥に位置し、本尊・十一面観世音菩薩をはじめとする国指定重要文化財の仏像五体などを収蔵しております。

中央の厨子には本尊像と千手観音像が安置され、この二体は、五十年に一度開扉される秘仏です。6年後の2020年は紀三井寺開創1250年の節目に当たり、開扉されて法要が営まれる予定です。

厨子左の帝釈天像、厨子右の梵天像、最右に安置の十一面観音像も秘仏と共に一千年以上前に造立された古仏です。

各像の左手に握られた蕾の蓮は、我々人間の心の中にある仏心を表し、これが開くまで見守っておられます。各像の右足がわずかに曲がっているのは、助けを求める人の所へ駆けつけようとする仕草です。

観音は「施無畏」の仏と呼ばれ、我々人間を様々な「畏れ」から守ろうとする慈悲深い仏様です。

御殿は、紀州徳川家のお殿様ご来山の折、休憩に使われた座敷で、四室各室に、紀州狩野派絵師達の各世代の有力者が優れた絵を遺しています。彼ら絵師達は日頃江戸の木挽町にあった狩野派のアトリエ「木挽町狩野」で研鑽を積み、殿様が参勤交代で紀州下向の際、同行して城や御殿、紀三井寺、東照宮などに絵を遺しました。

角の間には岩井宗繁が「旭日群鶴図」を、使者の間には岩井宗雪が「源氏物語若菜上図」を（床の雄大な「高士観瀑図」は作者不明）、上段の間には山本養和が「墨竹図」を描きました。四季の間の襖は、故寺口関山画伯により約50年前に四季花鳥図が書き直されました。

大光明殿の仏像が、人の世の「苦」を救う姿で我々に迫ってくるのに対し、御殿の各絵図は、この世に生きて目にする優れた光景、すなわち「楽」を満喫する空間になっている、その様に思われます。



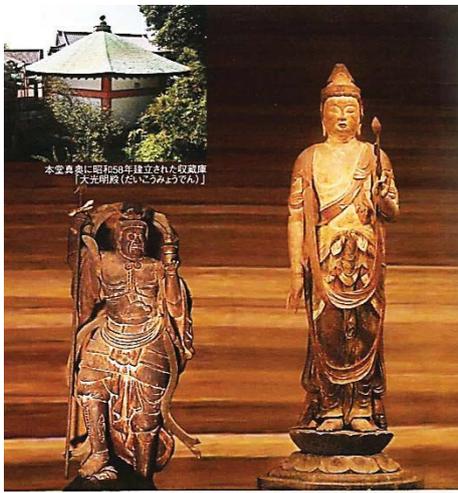


紀三井寺見学 「本堂」「大光明殿」「御成御殿」

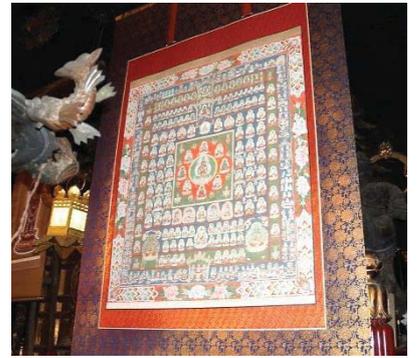




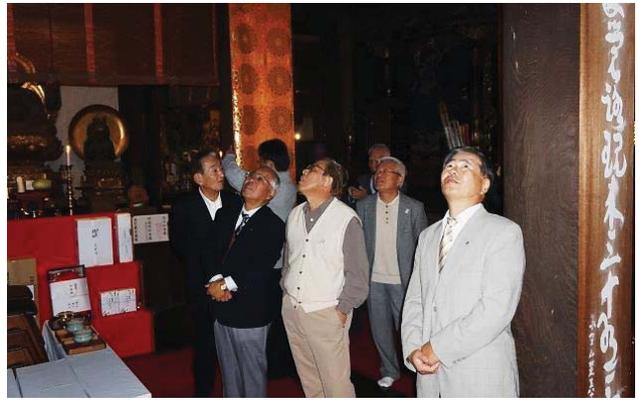
梵天立像
 十一世紀頃の作。密教の不動明王の密相と対して、秘仏本尊の秘相として伝えられるが、像容は天部というより菩薩像の体裁を示している。又彫りが強く、彩色があまり残っていないこと、四指の密相を帯びていないことなど、密相天と同じ作者が対として制作したのでは考えにくい。顔容は、彫しきの中に優しさを秘めた父親的な面影をかすめ。

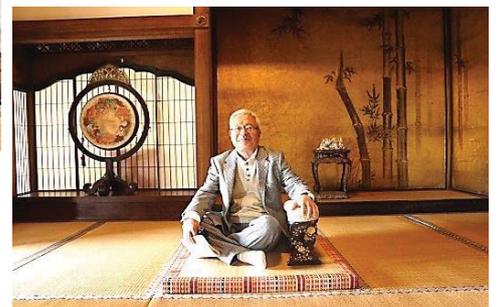
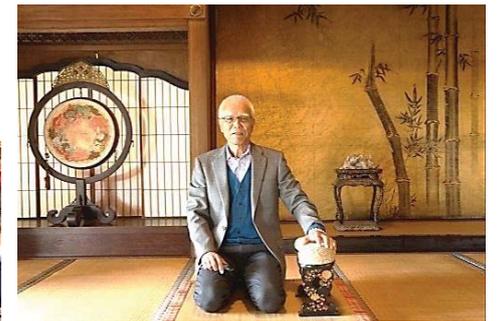
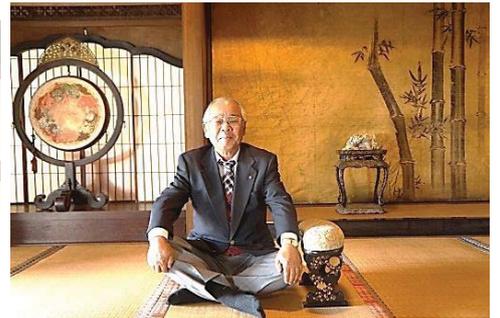


毘沙門天立像
 十一世紀頃の作。彫りの美しさが目立つ。顔の表情には天部がこもり、指定文化財ではないが、平安時代の秀作といえる。足下に踏みしめられる天の邪鬼は、江戸時代に改修されたものとみられる。



密相天立像
 十一世紀頃の作。像の一本影。左の梵天像と対して、秘仏本尊の秘相として伝えられるが、彫りが深く彩色も鮮やかに残っているため、像容は異なる。委に彫られた青緑赤白四弁の大隈団花文が、彫刻の秘相の秘相にも優秀な仏師の巧みを見る事が出来る。男性的な体天に比して、全てを包み込む母親的な包容力を示す。





11月9日(日) 一万人大清掃・JR和歌山駅前花壇 花苗植え替え

「一万人大清掃」

日時：11月9日(日) 集合8:20～
集合場所：本町公園、清掃8:30～10:00

参加者 7名
坂口・保田・溝落・山口(写真提供)会員
吉田・山田(さ)・宇治田会員



雨天の中、ご参加いただきました皆様、
ありがとうございました。＼(o)/

「JR和歌山駅前花壇花苗の植え替え」

日時：11月9日(日) 10:00～11:00
集合場所：JR和歌山駅西口花壇

参加者 3名
坂口・神谷(写真提供)・宇治田会員
(写真撮影協力)山口会員

